

付加環化反応で機能性分子を創りだす

「クリックケミストリー②1」



今回は、『オリゴヌクレオチドでアプタマー作製』したという文献をご紹介します。

▶核酸アプタマーとは、極めて高い親和性を持ち、特異的に標的分子に結合する短い一本鎖オリゴヌクレオチドです。タンパク質やペプチド、小分子から細胞に至るまでのあらゆるものを標的として抗体の代替物とみなされますが、抗体とは対照的に、アプタマーは低免疫原性かつ熱安定性であることが特長です。今回ご紹介する文献では、この多用途性に着目し、様々な改変アプタマーについて議論されています。

Pfeiffer, Franziska, et al. "Customised nucleic acid libraries for enhanced aptamer selection and performance." *Current Opinion in Biotechnology* 48 (2017): 111-118.

そのオリゴ合成、承ります！

文献のアプリケーション応用には、日本遺伝子研究所のオリゴヌクレオチドをお勧めします！類似のクリックマーの合成には、『C8 アルキン（オクタジニル）（dA,dC,dT）修飾』や『エチニル（dA,dU）修飾』挿入オリゴヌクレオチドをオーダーください。

日本遺伝子研究所では、クリックケミストリーHuisgen 反応用の修飾オリゴ DNA、RNA 合成を承っております。

CuAAC

- ▶アジド(-N3)修飾オリゴ DNA・RNA
- ▶アルキン(-CECH)修飾オリゴ DNA・RNA
- ▶2'-O-プロパルギル (rA,rG,rC,rU) 修飾オリゴ DNA・RNA
- ▶3'-O-プロパルギル (rA,rG,rC,rU) 修飾オリゴ DNA・RNA
- ▶C8 アルキン（オクタジニル）（dA,dC,dT）修飾オリゴ DNA・RNA
- ▶エチニル（dA,dU）修飾オリゴ DNA・RNA
- ▶エチニル dSpacer 修飾オリゴ DNA・RNA

SPAAC

- ▶ジベンゾシクロオクチン(DBCO:dibenzocyclooctyl)修飾オリゴ DNA・RNA
- ▶ビスシクロノニン(BCN:bicyclo[6.1.0]nonyne)修飾オリゴ DNA・RNA

各種ラインナップについて、様々なリンカータイプを取り揃えております。リンカーを明記した詳しい構造をホームページにアップしておりますので、ご参考ください。また、ご希望のリンカーがない場合でも、使用する試薬を変更したり、スペーサー修飾等を用いてカスタムすることで解決できる場合もあります。是非一度、ご相談ください。

⇒詳しくは[こちら](#)